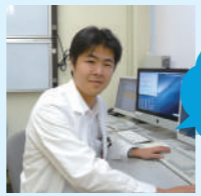


# 松下記念病院の医師が解説！ 新型コロナウイルス感染症

日本全国で広がっている新型コロナウイルス感染症  
改めて松下記念病院の医師が詳しく解説します！



私が  
ご紹介  
します！

院内感染防止委員会 副委員長  
インフェクション・コントロール・ドクター (ICD)  
安田 考志 先生



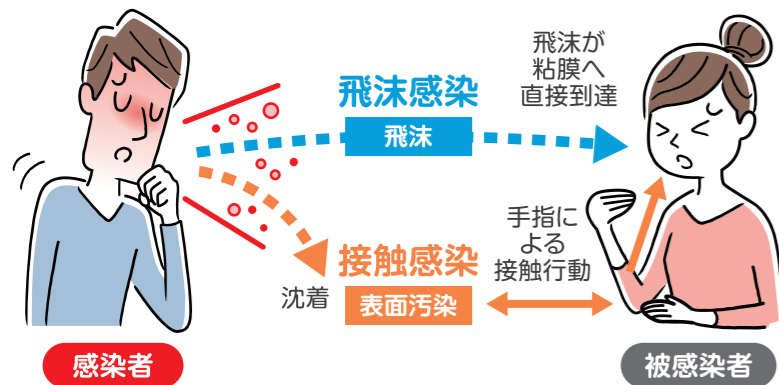
## 松下記念病院

パナソニック健保が運営する松下記念病院は、地域の中核病院として最前線で新型コロナウイルス感染症に対応しています。  
1日300件を超えるPCR検査等の体制を整え、保健所や開業医だけでなく、パナソニックの事業所や海外渡航者向けのPCR検査も請け負っています。  
今回は、松下記念病院の医師に専門的な知見も踏まえ、新型コロナウイルス感染症に関する最新の情報を教えていただきました。

## 新型コロナウイルス感染症 今わかっていること

COVID-19

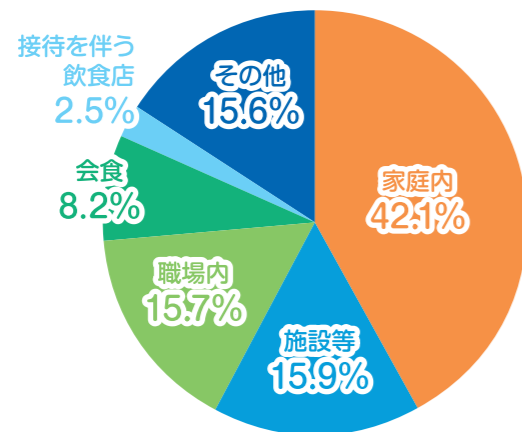
### 感染原因



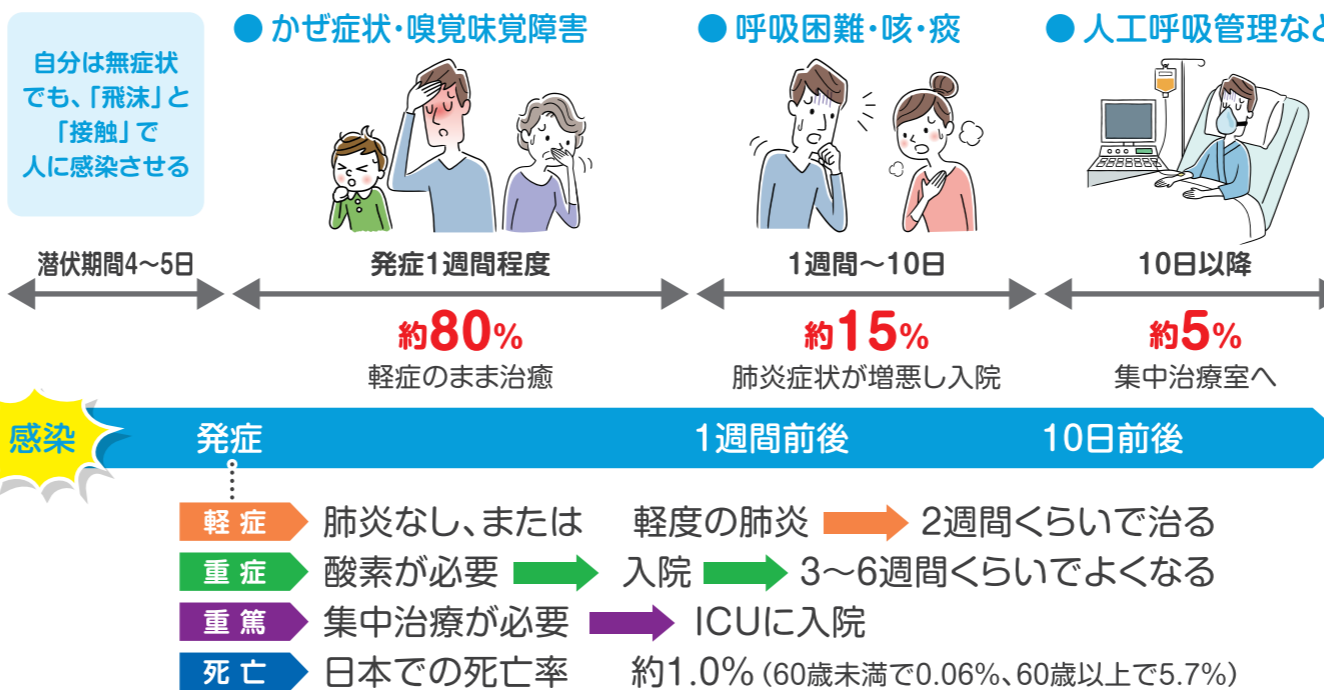
ウイルスを含む飛沫は  
目・鼻・口の粘膜に付着し感染します

### 感染経路

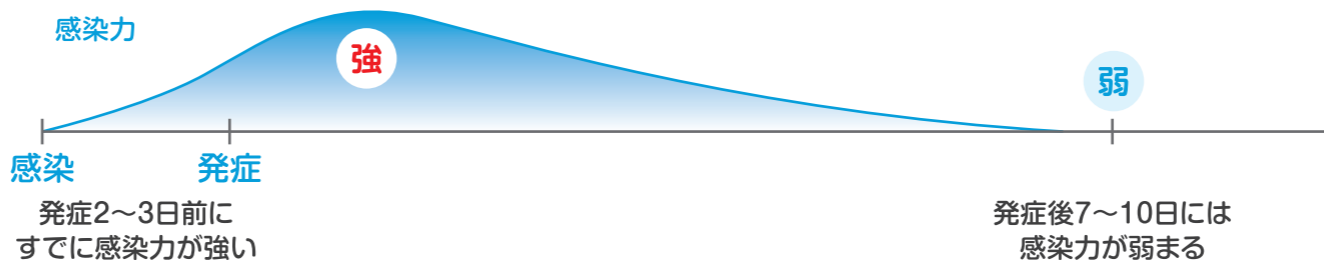
第3波までの  
感染経路の特徴



### 新型コロナウイルス感染症の経過

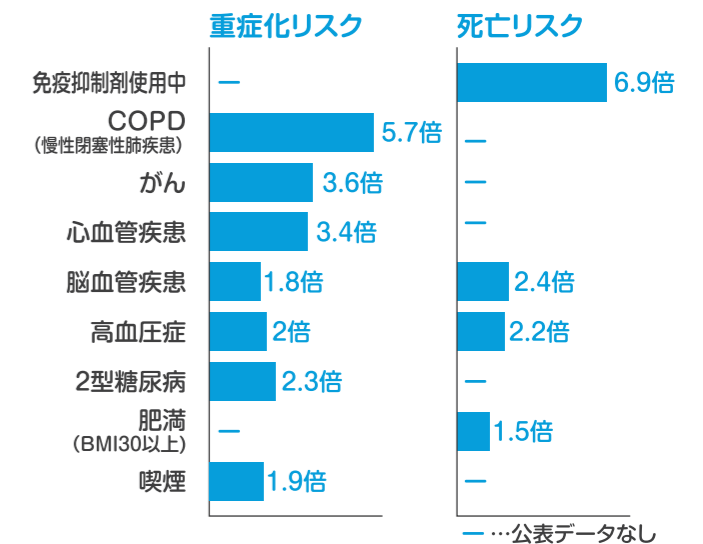


### 人に感染させる期間



### 注意すべき人

基礎疾患がある方は、  
ない方に比べてリスクが高まります



### 新型コロナウイルス感染者の後遺症

	発症60日後	発症120日後
後遺症がある (内訳)	66%	39%
嗅覚障害	19%	10%
呼吸苦	18%	11%
だるさ	16%	10%
咳	8%	6%
味覚障害	5%	2%

## 感染予防のために大切なこと

◎ 自分が感染しない  
家の外では顔回りを  
触らない  
肩より上に手を持っていかない



◎ 集団での食事は危険と認識!  
しっかり対策をする

- ・食堂を十分に換気
- ・他の人と距離を空けて座る
- ・飛沫ガードを置く
- ・食事の時間を他の人とずらす

◎ 感染対策や新しい生活様式に慣れる

- ・咳エチケット、手洗い、うがい、ソーシャルディスタンスは今後も実施
- ・三密空間 (密閉、密集、密接) に行かない、作らない
- ・体調が悪ければ会社等を休む

換気を良くして  
三密を避けよう!  
いつでもマスク手洗い・  
消毒忘れずに!

症状を確認する

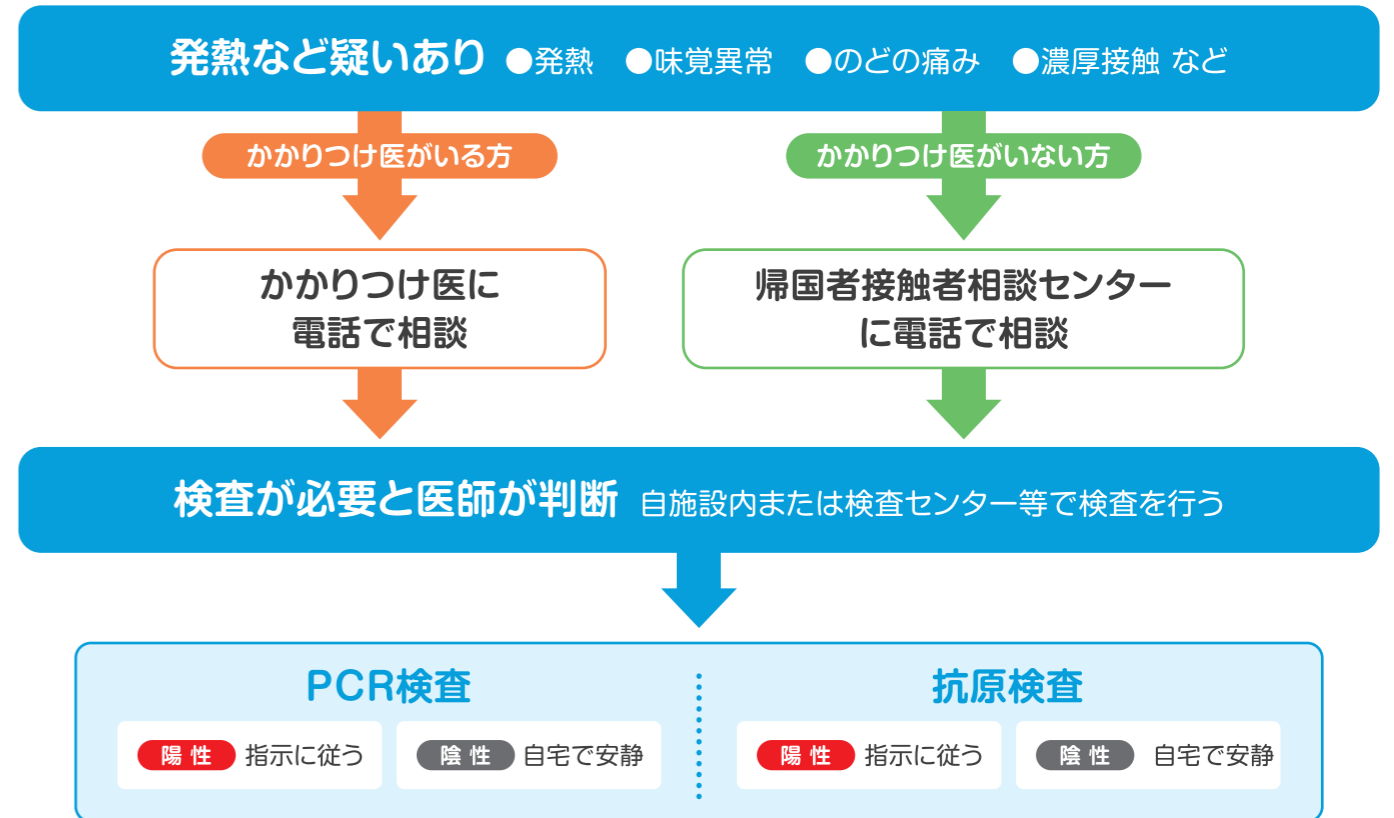
◎:頻度高い ○:よくある △:ときどきある ×:まれにある

	発熱	せき	のどの痛み	息切れ	だるさ	関節痛 筋肉痛	頭痛	鼻水	下痢	くしゃみ	嗅覚障害 味覚障害	嘔吐
新型コロナウイルス感染症	○	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△
かぜ	○	◎	◎	×	○	×	◎	◎	×	◎	—	—
インフルエンザ	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	○	○	×	—	—

- 感染しても無症状の方…20～45%
- **息切れ** **嗅覚障害** **味覚障害** は新型コロナウイルス感染症で見られる特徴的な症状であり、疑う目安になります



新型コロナウイルス感染を疑った場合の対処法



Q マスクって効果ありますか？

A マスク着用での、完全防御はできませんが、感染リスクは十分に低減できます。もし、自分が感染していた場合に、人にうつすリスクを大きく低減させる効果があります。布マスクや手作りマスクであっても一定の効果があります。一方でマウスガードは効果が低いので注意が必要です。

Q 感染リスクの高い場所・場面はどこですか？

A 3密（密閉・密集・密接）の環境で感染リスクが高まります。このほか、飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わりといった場面でも感染が起きやすく、注意が必要です。特に、マスクを外す場面は注意しましょう。

Q どんな検査で陽性を判定するのですか？

A 検査の種類は「PCR検査」「抗原検査」が判定に用いられることが多いです。検査方法は鼻咽頭ぬぐい液だけでなく、唾液や鼻腔ぬぐい液を使うことも可能になっています。一方、「抗体検査」は、過去に感染したことがあるかを調べるもので、検査を受ける時点で感染しているかを調べるものではありませんので注意が必要です。

Q 感染した場合どんな治療を行いますか？

A 軽症の場合は経過観察のみで自然に軽快することが多く、必要な場合に解熱薬などの対症療法を行います。呼吸不全を伴う場合には、酸素投与やステロイド薬（炎症を抑える薬）・抗ウイルス薬の投与を行い、改善しない場合には人工呼吸器等による集中治療を行うことがあります。

Q ワクチンはいつ打てるようになりますか？

A 早期の実用化を目指して国内・海外で通常より早いペースで開発が進められており、既に臨床試験が進められています。政府が公表している確保量は全国民が実施できる十分な量がありますが、日本国内での開始時期はまだ明確ではありません。

Q ワクチンの有効性や安全性についてはどうですか？

A 有効性や安全性に関する臨床試験の結果の詳細については、今後、更なる情報が明らかになるのを待つ必要があります。一般的にワクチン接種には、副反応による健康被害が少なからず発生します。現在、開発中のワクチンの副反応については臨床試験等でどのようなものが起こりうるか確認されているところです。